

今年は残暑が厳しくなく、過ごしやすいですが10月とはいえ、朝晩はひんやりとしているので風邪を引いている人が多いみたいです。季節の変わり目ですがお身体をご自愛下さい。

有限会社美栗陸送 代表取締役 栗本佳孝



夏期休暇を利用して静岡に行ってきました。
私の息子が鉄道マニアなのでSLに乗ろうと思い、6月に大井川鉄道を予約しました。
その後、子供と妻がテレビを見て「大井川鉄道に機関車トーマスが走っている」と言うので旅行社に問い合わせたところ10月5日までの土日祝日限定で走らせているので乗車券の予約は埋まっていて取れないとの事でした。
それでも、どちらにしてもSLには乗るので、トーマスを見ようと言う事になり早朝から新金谷駅に向かいました。

空席が無いか窓口で確認したら、家族連れが多いため4人掛けのボックス席の1席をバラバラで3人分確保し機関車トーマスに乗る事ができました。

イギリスで機関車トーマス型のSLが走っているのをYouTubeで見た事はありましたが、日本で走らせる発想はさすが「大井川鉄道」といったところでしょうか。



JR金谷駅～新金谷～千頭間を大井川鉄道は走らせていますが、平日は朝晩が1時間に1本昼間は2時間に1本位しか走っていない、地味なローカル私鉄です。
しかし、この鉄道会社のすごいところはSLを走らせたり、他の私鉄で使用済みとなった車両を走らせていて、動く鉄道博物館のようです。
「人がいないから」「赤字だから」と諦めずにアイデア次第で大人気の会社になることができる。今後の日本は人口が減少し、消費は確実に減っていく事は事実として受け止め、そのためにどのようなアイデアで時代の流れに乗っていくのかを考えるととても良いヒントになりました。



「からだにいいこと」(祥伝社)9月号に掲載されました。
女性向けの月刊誌で9月号(7月16日発行)でボーナスを大きく使う!「節約買い物術」というコーナーにてボーナスでクルマを買うならどのようにしたら節約できるかについて取材があり、掲載していただきました。
クルマに詳しい人や、クルマに詳しい人が友人知人である人にとっては当たり前のお話ですが、世の中でクルマに詳しい人はほんのわずかしかないのです。
そんな人達への情報発信のお役にたてて光栄です。

お客様の立場で考え行動する 有限会社美栗陸送

岐阜県岐阜市細畑1-8-7 TEL:058-213-6445 FAX:058-213-6446

夏季休暇中に能登島にキャンプへ行ってきました。



海(素潜り)とキャンプが大好きです。でも、一番の目的は「能登島の野生イルカウォッチング」です!

目の前が海のロケーションで良い場所です。海の幸も豊富だし(・・?ここからシーカヤックも出せます。石川県能登半島の東側に位置し、穏やかな海に囲まれ、豊かな自然を残す能登島の近海には数年前から野生のミナミバンドウイルカが棲みついています。



当日は「イルカたちが出てきてくれるかなあ〜」とワクワクドキドキしながら能登島沖へ出発天気も良く、波も穏やか。イルカウォッチング日和!たぶん。(・^・)7月から9月頃はほぼ見ることが出来るので楽しみ〜!(^o^)



いつもは10分程の沖合に現れるのですが、この日は5分程でいました!いました!すでに他の船が数隻いて、その周りを3頭のイルカが気持ち良さそうに泳いでいます!興奮して見入りました。イルカたちは馴れているようで、数隻の船の周りを行ったり来たり。さすがに水族館のイルカのようにジャンプはしてくれませんでした(笑)、存分に楽しませてくれました。(・^・)

ウォッチング船ではイルカと一緒に泳ぐ「イルカスイム」も行っていました。

ちなみに、能登島沖はイルカが定住する世界最北の海域の可能性が高いとか。天敵であるサメがおらず、餌も豊富で、波の穏やかな海域だからでしょうか。能登島の人々はこのイルカたちを守り、共生していくために自主的なルールをつくり、安全なイルカウォッチング、イルカスイムを行っています。



このイルカたちと地元の人々との関わり合いは「イルカを温かく迎える島の人々の優しさ」として国土交通省の「島の宝100景」に選定されていますd(・^・)能登を訪れる機会があれば是非イルカウォッチングを体験してみてください。

中原 毅



早めのライト点灯を徹底する

「見よ、見よ」というのではなく、点灯するタイミングを時間で決めておきましょう。たとえ「10分前に点灯する」としておけば、暗くなり始める頃には必ずライトがついているので、こうすることで自車を目立たせることにもなり、防衛運転にもなります。

村瀬 直樹